



令和になって最初の冬は、記録的な暖冬、少雪となっており、これも一種の異常気象と言えるのではないのでしょうか。

防災・減災セミナーでは、地域の皆さんが災害時の行動について学びました。災害はいつ起こるか分かりません。万一来備え、日頃からの準備をよろしくお願いします。

### 12月17日 防災・減災セミナー & しめ縄づくり温か交流会

金木町赤十字奉仕団による防災・減災セミナーとしめ縄づくり温か交流事業が、金木町の各地域において、12月13日から22日まで5回開催されました。

私は12月17日に喜良市コミュニティセンターで行われた、ビニール袋での炊き出し訓練と防災・減災についての勉強会に参加しました。

災害は突如として思わぬ規模で襲いかかってくるものであり、発生時には地域での助け合いが重要です。

地域の皆さんが集い、絆を深めながら、災害時の心構えや行動などを学ばれることはたいへん心強く、こういった取組みの輪が今後さらに広がることを心から期待しています。



### 12月20日 市内飲食店街における夜間交通巡回指導

冬本番を迎え積雪や凍結によるスリップ事故等の発生や、年末年始にかけて飲酒の機会が増えることから飲酒運転による事故が懸念されます。

五所川原市交通安全対策協議会では、飲酒運転の根絶とハンドルキーパー運動を推進するため、12月20日に市内の飲食店街を巡回し、飲酒運転による事故の防止を呼びかけました。

飲酒運転による事故は、運転者本人はもちろん、車やお酒の提供者、同乗者が厳しく罰せられるだけでなく、被害者やその家族の人生を大きく狂わせます。

皆さん、交通ルールの遵守と安全運転を心がけ、飲酒運転は絶対にしないようお願いします。



### 1月16日 五所川原地区ものづくり連絡会発足式

1月16日、五所川原圏域のものづくり企業17社が、自治体の区域や業種、企業規模という従来の枠組みを超え、情報の共有・交換、連携の強化を目指し「五所川原地区ものづくり連絡会」を発足させ、私も発足式に出席いたしました。

参加企業の製品は様々ですが、地域のものづくり技術の向上はもちろん、新たなビジネス連携や人材育成なども想定され、人手不足が進む中で、こういった民間が中心となった動きは、たいへん心強く、今後の進展を心より期待しています。

また、発足式終了後には、懇親の場も設けられ、早速、各企業の代表が活発に意見交換を行うなど、交流を深めました。私も皆さんとご一緒し、たいへん有意義な時間を過ごすことができました。



## ゴニカントランプ世界選手権大会 26年の歴史に幕

1月19日、第26回ゴニカントランプ世界選手権大会が市民体育館で行われ、市内外から約340人が参加し頭脳戦を繰り広げました。

ゴニカントランプ世界選手権は1995年に第1回が行われ、当時は県内外から1,000人を超える参加者が集まり、にぎわっていました。しかし、少子高齢化に伴い、参加者が減少し今回の大会が最後となりました。

第1回大会優勝者の工藤彰一さん（鶴田町）は「昔はゴニカンをプレーする人がたくさんいたが、今は少なくなった。第1回大会で優勝したことは良い思い出だが、今回で最後となるのは寂しい」と話しました。

外国人選手のコーリー・ロトロさん（アメリカ合衆国）は「大会に出るのは今回が3年目です。ゴニカ

ンが大好きで、家で友達と練習しながら何回もやっています。最後の大会ですが頑張ります」と話しました。



体験コーナーでプレーする皆さん